

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護学概論		NSP21_003	必修	1	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
飯嶋 玲奈		405	reina.ijima		水曜日 9:00～13:00	
授 業 の 目 的 ・ 概 要		性の尊厳と使命および人の性と生殖の意義を理解し、ウィメンズ・ヘルスという視点から各発達段階における身体的・心理的・社会的特性について学ぶ。ライフサイクルに応じた女性の健康を保つ意義と課題、母性をとりまく環境や地域システム等を理解し、母性看護の機能と役割について学ぶ。母性の概念と母性看護の意義、人間の性と生殖（人間の成長過程とセクシュアリティ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション）、母性の発達過程に影響を及ぼす因子、各ライフサイクルにおける母性の役割機能を遂行するための看護の理論を学ぶ。また、我が国独自の母性看護に関連する地域性および文化等の歴史の変遷、母子保健の動向、政策、制度、法律等を学ぶ。				
授 業 形 式 ・ 方 法		☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐実習 ☐実技 ☒PBL ☐グループワーク ☐その他 () ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☐ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク				
学 習 上 の 助 言		現代女性の特性や生き方、さらに男性や家族・地域社会の特徴やあり方など社会の動向にも注目し視野を広げ、自身の母性観、父性観についても考える機会としてほしい。				
教 科 書		・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 第14版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2023 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 第14版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2023				
参 考 書		・国民衛生の動向 2024/2025 /厚生労働統計協会 ・母子保健の主なる統計 令和 6 年刊行 /母子衛生研究会/2024				
外 部 教 材		特になし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	母性看護の基盤となる概念について理解し説明できる。				HSU(1)(2),NS(1)(2)	
②	母性看護に関する社会的動向について理解し母性看護のあり方について説明できる。				HSU(1)(2),NS(1)(4)(5)	
③	母性看護に関連する法律・施策について理解し説明できる。				HSU(1)(2),NS(2)(5)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	母性の概念、母性看護のあり方 母子関係と家族発達		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む		4
2	セクシュアリティ リプロダクティブヘルス/ライツとヘルスプロモーション		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む		4
3	リプロダクティブヘルスケア 不妊治療 出生前診断		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む		4
4	児童虐待 国際化社会と看護		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む		4
5	倫理、安全、事故防止		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 倫理的課題について個人ワーク		3
6	母性看護分野における倫理的問題についてグループディスカッション		演習	【復習】レポート作成 【予習】次回分の教科書を読む		3
7	わが国における母性看護の変遷と現状、および母子保健統計と社会的動向		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む		4
8	母性看護に関する法律や施策、対象を取り巻く環境		講義	【復習】既習内容、教科書を読む 定期試験勉強		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

達成度評価								
総合評価割合 (%)			試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			95	5	0	0	0	0
総合 力 指 標	知識・技術力		70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力		20	3	0	0	0	23
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		5	2	0	0	0	7
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	本試験 95 点で実施する。				本試験実施後、答案返却と同時に模範解答の提示および解説の機会を設ける。	
	②	✓						
	③	✓						
レポート	①	✓	第 6 回演習後に課すレポート点 5 点				レポートに対するコメント後返却する。	
	②	✓						
	③							
成果発表	①							
	②							
	③							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
その他	①							
	②							
	③							
備 考								
他 担 当 教 員		なし						
教 員 の 実 務 経 験		総合周産期母子医療センターにおいて助産師として、5 年の臨床経験を有し、かつ母性看護学および助産学の 7 年の教育経験を有する者が教授する。						
実践的授業の内容		実務経験を活かし、実際の倫理的な場面を取り上げながら演習を展開する。						
そ の 他		講義資料は事前に Teams 内に格納します。またレポートの提出や授業のフィードバックなどにおいても Teams や Forms を広く活用します。デバイスの準備（持参、充電）やログインなど自身の準備体制をきちんと整えたうえで授業に出席するようにしてください。						